

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	なかよしクラブ			
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 26日		～	令和8年 2月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	8名
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 7日		～	令和8年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○訪問先施設評価実施期間	令和8年 1月 26日		～	令和8年 2月 13日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	3か所	(回答者数)	3か所
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 17日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職である作業療法士が訪問支援員として支援を行っていること なかよしクラブも同じ体制であるため、訪問支援員同士で話をして支援の内容や併行通園先や学校への支援の方針などを協議することができること	作業療法的視点での行動特性の分析 環境に合わせた支援方法の検討 児童発達や放課後等デイサービスの職員との協議や情報共有	充実した支援に向けた自己研鑽 作業療法的視点の整理・外部への発信
2	こども園、保育園、小学校など幅広い訪問支援先を現在開拓できていること	関係事業所への訪問支援についての説明実施 保育園・学校など支援先に応じた支援の工夫	事業所での支援を通して、保育所等訪問支援が必要ではないかと思うことにも対して、訪問支援す ずめていけるようにする
3	現場で対応する専門職(作業療法士・保育士・介護士・幼稚園教諭・障害者施設元職員・元特別支援学校教員)との密な連携	支援先の子どもの様子について即時共有 必要に応じた支援方法の即時検討および変更	定期的なカンファレンスの実施 フレッシュな支援の継続

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だとと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問支援事業の的確な発信が不十分	保育所等訪問支援事業の周知が不十分	必要性和実際に訪問支援を行った際の効果についてなど、具体的に説明できるようにしていく
2			
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 なかよしクラブ

公表日 令和8年2月27日

利用児童数 6名 回収数 6名

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	2	1		3		訪問時の様子をお見せすることは難しいですが、訪問や記録に必要な教材教具をそろえております。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	3	1		2		児童発達支援の面談と同様、相談室にて対応をさせていただいております。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	6					ありがとうございます。訪問の目的やどのような効果があるかについては、面談やLINEでお伝えをさせていただいております。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	4	1		1		訪問希望があった際には、頻度や時間帯などについてご要望を確認させていただいております。
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	5			1		子どもの発達に10年以上携わっている作業療法士が直接対応させていただいております。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6					子どもの発達に10年以上携わっている作業療法士が直接対応させていただいております。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	4			2		訪問先の意向についても話をした上で、訪問支援計画の修正など行っております。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5			1		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5			1		訪問回数が少ないと達成が難しいことや、訪問したことで見えてくる課題等もありますので、都度お話しさせていただきながらよりよい計画と支援が行えるようにしていきます。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	5			1		受け入れてくださった訪問先様の活動や学習を遅ってしまうことがないよう、事前に打ち合わせをするなどして配慮しています。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	6					
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	6					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6					児童発達のモニタリングとともに面談をさせていただいております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6					
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6					
19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6					LINEや連絡帳を活用したやり取りで、目に見えてわかる形で記録をお伝えしています。	

	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	5			1		訪問先様からのご意見やご相談に関しても専門職の視点からお話をさせていただいています、
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	5			1		全ての訪問先様と、子どもへの直接支援とともに話し合いを行う間接支援も行ってまいります。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	6					
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3	1		2		自己評価については今年度が初めてになりますので、HPへアップされた際にはお知らせする予定です。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6					個人情報の取り扱いについては、承諾書を基に配慮して行っております。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	5			1		児童発達支援と同じく、緊急時の対応マニュアル等を作成し共通理解を図っております。
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6					
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	6					
	28	事業所の支援に満足していますか。	6					ありがとうございます。保護者や子どものご希望にそえるよう努力していきますので、よろしくお願い致します。

公表 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				
なかよしクラブ		令和8年 2月27日				
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	2	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・助言内容は具体的でわかりやすかったが個別対応を前提としたものが多く、集団保育の中では、そのまま取り入れることが難しいと感じる。</li> <li>・普段の園生活以外での生活を見て、実際にその子に対する支援方法を詳しく知ることができました。</li> </ul>	事業所の支援を集団の中でどのように落とし込んでいくのか難しさもあるので、現場の状況に合ったアドバイスができるようにしていきたいです。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	2	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的な知識は大変勉強になり参考になった。</li> <li>・療育でしかわからない専門分野を園でも取り入れていきたいと感じました。</li> </ul>	研修等を通して、知識・技術については日々研鑽を行ってまいります。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	3			<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問支援員の視点は子どもの理解を深めることができました。</li> <li>・どの質問に対しても詳しく教えてくださりました。</li> </ul>	ありがとうございます。園(集団)での生活といったものが子どもの発達へのベースになっていると想っています。事業所での小集団の支援とバランスをとりながら、どうしたら集団の中で子どもたちが力を発揮できるか一緒に考えさせていただければと思います。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	3	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別場面での関わり方については理解が深まったが、集団活動の中での具体的な対応方法については、実践に結びつけることが難しく、困り事や解消には至らなかった。</li> <li>・実際に園と療育での違いが気になっていたのをご存知ことができました。</li> </ul>	事業所と共通する悩みなどもあるので、互いに協力体制を作っていくながら支援させてもらえると助かります。
5	事業所からの支援に満足していますか。	3			<ul style="list-style-type: none"> <li>・園でのことが話しやすく、療育から帰ってきた後の話でも最初から最後まで詳しく教えてくださることができました。また、支援のしかたについても新しい知識として、取り入れていきたいと思いました。</li> </ul>	定期的に入れ込んでくださってありがとうございます。
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		なかよしクラブ					公表日	令和7年2月28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点		
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		その場にある物での支援ができるよう工夫している その他必要な物については事業所内にある物を活用している			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		作業療法士が主に担当をしている	児童発達や放課後等デイサービスとの兼務もあるので、保育所等訪問支援の需要が増えた際は訪問支援員の増加も検討していきます。		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		委員会、活動の反省会 朝の打ち合わせ LINEワークスを活用した業務連絡。	日々の活動や子どもたちの様子等を全体で共有することで、一丸となって支援に取り組めるようにしていきたい		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		面談・モニタリング・連絡帳・LINEによる意向の確認	いただいたご意見に対してできる所から改善していきたい。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		会議等の改まった場面以外でも事業所内の職員と情報共有することで、支援の参考としている			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○				
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		スタッフ派遣事業(やまびこ医療福祉センター)を活用した職員研修、公開療育参観による研修、発達支援センター等が主催する研修への参加、定期的に開催する事業所内研修(15分間研修、感染予防対策訓練など)	事業所内の短時間研修の内容を充実させ、今後も継続していく。		
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		5領域に対応した独自のアセスメント票を使い、保護者と直接話をしながら支援計画の作成に努めている。	訪問支援独自のアセスメントやニーズを把握して計画に反映できるようにしていきたい。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		現場の職員と訪問支援員も参加する作成会議を経て個別支援計画を作成している			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		訪問先の事前の情報収集・訪問時のカンファレンスなどにより情報を共有し、支援計画に反映させている	保育所等訪問支援を活用してどのような支援が展開できるのか、併行通園先へのメリットはどんなことがあるか、子どもにとってどんなメリットがあるかなど、わかりやすく発信をしてきたい。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		ポイントに絞った目標設定を行い、日々の活動でも目的を明確にして取り組んでいる。 反省会などで出た意見なども取り入れている。	個々の支援計画の内容について共有が浅い部分もあるので、職員間で話や説明をしていきたい。		
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		行動観察を含めたインフォーマルなアセスメントについては、ポイントを同法人の訪問支援員と共有している。その他必要に応じてフォーマルなアセスメントを活用している			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインを基に、児童発達支援の個別支援計画も参考にしながら作成している			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		訪問支援員も支援計画の作成会議に参加し、内容を理解した上で訪問支援を行っている			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		訪問支援でのポイントや児童発達との役割分担について、訪問前と訪問後で共有している			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		訪問支援員の観察点を事業所内で共有し、具体的支援方法を検討している			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		訪問先の方針に沿った支援方法の検討に努めている			

関係機関や保護者との連携	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		活動内容・観察内容・検討事項を記録しファインリングしている 保護者にも支援内容について報告している	記録の共有についてはLINEワークスなどのアプリも使って、他の職員とも共有が図られる状況を継続させていきたい。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的な訪問により意向の確認をし、必要に応じて適切に見直しを行っている	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管と訪問支援員が参加している	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		地域の保健センター・教育機関・医療機関等との連携は保護者の承諾を得た上で、電話・訪問・書面等にて実施している	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		独自の移行支援シートの活用（県の移行支援シート参照） 各学校と個別に引継ぎを行っている	夢すこやかファイルとの連動と活用について
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		スタッフ派遣事業（やまびこ医療福祉センター）を活用した職員研修、公開療育参観による研修、発達支援センター等が主催する研修への参加、法人研修、定期的に開催する事業所内研修（15分間研修、感染予防対策訓練など）	事業所内の短時間研修の内容を充実させ、今後も継続していく。
保護者等への説明等	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		地域保健センターでの研修 地域連携会議への参加 子育て支援ネットワークへの参加	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳やLINEでの情報共有	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		年6回の内容でペアレントトレーニング実施 定期的な保護者会（なかよشتタイム）の開催	多くの方に参加してもらうために、内容を記載した案内文を送るなど、興味をもってもらいやすくする工夫をしている
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明し、保護者からの質問等には適宜応じている	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		保育所等訪問支援について解説するチラシの配布と実際の訪問の際には文書の送付を行っている	併行通園先や学校の理解を得ることができないと訪問支援を行うことが難しいので、支援の意義についてわかりやすく伝えていく。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		相談支援とも連携しながら、こどもの様子や保護者の意向について丁寧に話し取りを行っている。就学やその先のことまで触れながら、その子にとってよりよい支援が行えるよう話をしている。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		モニタリングやアセスメントも踏まえながら、支援の方向性について同意を得た上で交付している。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		法人全体の取り組みとして発達相談の体制を整えると同時に、面談等により相談に対応している	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者参加型の親子のつどい（満足など）を行ったり、学習会と茶話会をセットにした「なかよشتタイム」を開催している	きょうだい同士で交流する機会を設けられるように、親子活動などを計画したい。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		契約時に相談があればいつでも面談しますと伝えてある。実際に相談があった際は、主任や施設長で共有して面談日などを決めている	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		月に一回発行しているなかよしだよりにて、日々の活動や給食のメニュー等を発信している	
35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		項目ごとに分けた個人情報承諾書に基づき個別に対応している		
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		連絡帳やLINEの活用。LINEの場合は写真や動画も活用している。		
37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		送迎時の情報共有 必要に応じてお帳面等を使った園との情報共有		

訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		実施後のカンファレンスを次回の訪問支援に活かしている	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		連絡帳や口頭、LINEにて支援内容等の共有を行っている	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		項目ごとに分けた個人情報承諾書に基づき個別に対応している	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		訪問先からの要望にも応える形で次回の予定などを入れている 事業所の見学につながったこともあった	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		年間計画の段階で予定に入れている。 保護者には契約時に災害伝言ダイヤルや避難場所の説明をしている。	各種マニュアルについては、保護者向けに内容を整理して、配布できるようにしたい。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		避難訓練やBCPの内容に関連して訓練を行っている。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事例があった場合はすぐに共有、記録している。 法人内の事例についても共有する体制をとっている。	記録は続けているが事例集とはなっていない 委員会で新書式への移行を検討中
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		外部研修や事業所内の研修にて機会を確保している。	チェックリスト等を使用し、虐待について定期的に考える機会を設けていきたい
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		個別支援計画にも注意書きを記載、必要な場合には保護者に相談の上、支援計画に記載すると説明を行っている。	身体拘束マニュアルの内容について検証し、更新していきたい。